

令和7年度ナンバーワンスクール&ステップアップスクール

三好市立三野中学校

ナ ン バ ー ワ ン ス ク ー ル	領域	全 教 育 活 動
	主題	思いやりと志をもった人財の育成
	主題設定の理由	子供たちが生きていくこれからの時代は、AI など革新技術の加速度的進展により、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超え、先行き不透明な時代といわれる。そんな時代だからこそ、人としての生き方が問われると考え、人権教育を学校教育の中核に据えたい。また、生徒一人一人は近い将来、日本を担う存在であり、地域の活性化や発展に寄与できる人財として活躍を願い、本主題を設定した。 「人権の共存を追求する心の育成」と『「かかわる力」「みつめる力」「すすむ力」「えがく力」の育成』を中心に推進し、生徒一人一人の10年後の幸せをめざしたい。 そのために、「自分の命」「周りの方々の命」「ものの命」を大切に、特に「周りの方々の命」を大切にする教育活動を通して、思いやりにあふれ、社会に貢献できる生徒を育成をする。
ス テ ッ プ ア ッ プ ス ク ー ル	領域	全 教 育 活 動
	主題	思いやりを育む（人権意識の高揚）
	主題設定の理由	生徒アンケートでは「楽しく学校生活が送れている」が99%であるが、「いろいろな場面で自分の意見が言えている」は55%、「学習で、分からないことがあるときは時は、質問している」は43%である。表面的には楽しく学校生活を送っているが、周りの仲間を信用しきれず、弱みを表に出さないように過ごしていることが分かる。また、学期ごとのいじめアンケートでも毎回数件、嫌な思いをしたという事案が発生している。 そこで、互いを認め合い、尊重し合い、可能性を伸ばし合う生徒を育成したい。具体的には下記のような取組を推進し、主題に迫りたい。 ①互いを認め合うために自ら進んで元氣な挨拶、温かい言葉がけ。 ②人権教育、道徳教育の充実。 ・各学級年3回の研究授業で授業力向上を図る。 ・出前授業や校外学習を人権教育の視点で見直し、改善を図る。 ・教職員の人権意識高揚につながる研修を実施する。 ③地域の教育力を利活用し、郷土愛と自尊感情・自己肯定感を育む。 ④無言清掃の推進。 整えられた環境は生徒の心を穏やかにする。無言で時間いっぱい清掃に取り組むことで達成感を得るとともに公共心も育成したい。 ⑤黙想の時間の活用 自己を見つめ、1日を振り返り、成長の時間にする。 ⑥生徒会活動の充実（人権・いじめ防止委員会を中心とした活動） ⑦毎月の校内人権推進委員会で進捗状況の把握、改善を図る。